

「互いに認め合う」

校長 野上 浩資

11月、平年の気温よりも高い日が続きました。しかし、20日を過ぎると気温が急低下し、冬が到来しました。急な季節の変化に体調管理に気を遣われる方も多いのではないのでしょうか。また、10、11月は、数多くの地域行事（福祉まつり、地域祭、文化祭、バザー等）が開催され、改めて地域によって子供たちが育まれていることを感じるとともに地域（人）の温かさを実感しました。

さて、来月12月10日は国際連合が定めた「人権デー」です。人権とは、私たちが幸せに生きるための権利で、世界中の誰もがもっている権利です。

「人権デー」を受け、わが国では毎年12月4日から同月10日までを「人権週間」と定めています。その期間中、人権に関する人々の意識を高め、平和で人に優しい社会をつくるため、全国各地でさまざまな啓発活動が展開されます。

本校では、目指す生徒像として「生命を大切にし、互いに認め合える生徒」の育成を掲げています。そして、人権週間に先駆け11月26日（火）に全校で人権集会を実施します。集会は、講師としてJICA（独立行政法人 国際協力機構）の梶 恵一先生をお招きし、テーマ「異文化理解と社会参加～みんな違ってそれがいい～」について講演をしてもらいます。集会を通して「互いに認め合おう」という人権意識について考える機会になることを願っています。

さらにもう一つ人権に関連して、アニメ「アンパンマン」の作者である、やなせたかしさんは、「相手を喜ばせること。お互いに相手を喜ばせたいと思って動いたら、きっとうまくいく」とお話しされていたそうです。「互いに認め合おう」から一步進んで、「相手の喜ぶことをしよう」と意識を涵養できたら平和で優しい社会に近づけられるのではないのでしょうか。ご家庭でも、平素から、友人関係について子どもたちと話す機会を持っていたきたいと願っています。

2024年も残すところ1か月余りですが、本校教育活動につきましてご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

【合唱祭】

11月1日(金)「合唱祭」が体育館で行われました。装飾は美術部が行いました。今年のスローガンは「天歌夢奏」でした。意味は天に届くような歌声で夢に見たような音を奏でようという意味です。学校運営協議会委員や多くの保護者が鑑賞してくれました。どの発表も練習を重ねてきた成果を披露することができました。最上級生の3年生は最高学年にふさわしい素晴らしい歌声でした。

最優秀賞 1年C組 2年B組 3年A組
指揮者賞 1年C組 2年B組 3年A組
敢闘賞 F組



【防災訓練】

11月6日(水)に「防災訓練」が行われました。前半は外部講師によるオンライン講義、後半は各学年で異なるテーマで防災への知識を深めました。1年生は「防災実地訓練」として、倒壊家屋におけるジャッキアップ体験、ロープワーク、防災用品について学びました。2年生は市役所危機管理課職員から「避難所設営体験」として、紙管パーテーションや発電機、照明器具の実物を組み立てました。3年生は、防災に関するカードゲームの「クロスロード」を行いました。班員と出題された問題カードについて意見交換し、学級で災害時の対応や防災について考えを深めました。防災訓練を通して、自助(自分の命を守る)・共助(周りの人々と協力して助け合う)の大切さを学ぶことができました。

